

令和7年度 議員と語っチャオ！！ 開催結果とアンケート結果

【開催日時】 令和7年11月8日(土)
午後6時00分から 午後8時00分まで

【開催場所】 総合福祉センター(いきいき元気館)3階交流ひろば

【出席議員】 【議長】牛山正 【副議長】横山真
近藤一美 森山博美 藤森靖明 藤森綾子 岩波万佐巳 吉澤美樹郎
牛山実弦 小泉正幸 高木智子 大津学 小山博子 伊藤浩平 井上登
(議会改革推進特別委員会 再掲)
【委員長】藤森靖明 【副委員長】井上登
【委員】近藤一美 牛山実弦 小泉正幸 横山真 小山博子

【欠席議員】 なし

【議会事務局】事務局長 松木 史江 次長 長田一彦 係長 小口 隆

【参加者】 20名

【報道】 1社(諏訪市民新聞社)

【アンケート自由記載欄】

○アンケートで出された意見・感想(明らかな誤字以外、原文まま)

- ・お忙しい中ありがとうございました。御体気をつけてこれからもよろしくお願ひ致します。
お話を聞く事が出来て良かったです。
- ・議員の方々が身近に感じられました。諏訪をよりよくする。目指すところはみんな一緒だと感じました。ありがとうございました。
- ・観光に注力することは民意なのか?どんな街にしたいのかは民意に聞かなければわからない。元気な街? 楽しい街? やさしい街? そこからのHowではないのか?
- ・たのしかったです!ありがとうございました。
- ・出された懸案を調べた結果を報告書としてまとめて頂きたい。
- ・グループワークの設営の方法を再検討した方が良いと思いました。ありがとうございました。
- ・テーマではありませんが、参加者に発表させるのは好ましくない。言いっぱなしの会にして欲しい。

○次回「議員と語っチャオ!!」で話題としたいテーマ(明らかな誤字以外、原文まま)

- ・諏訪市のこれから
- ・地域発展のための法制度的アプローチの可能性(空き家、所有者の特定困難な土地等の活用)
- ・高齢化や少子化で、このまま行くと諏訪市はどうなるのかという現実を話してもらいたい。
危機感をふまえて、諏訪市をこれから本気でどうすべきなのか考える必要があるのではないか?
- ・諏訪市の不思議について聞きたい。

【アンケート集計結果】

参加者内訳(受付カード提出者)

男	女	その他	計
13	7	0	20

上諏訪	豊田	四賀	中洲	湖南	その他	計
5	4	2	7	0	2	20

※茅野市1・王滝村1

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
0	1	2	3	4	4	5	1	20

アンケート内訳(アンケート提出者)

男	女	その他	無回答	計
12	7	0	0	19

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
0	1	2	2	4	4	5	1	19

【参加のきっかけ(複数回答可)】

友人	広報すわ	ホームページ	新聞報道	公式LINE	ポスター	その他	計
9	2	1	0	0	0	8	20

・議員に誘われて

【議会だよりについて】

いつも読む	たまに読む	知っているが 読んでいない	知らない	計
7	8	3	1	19

【議会ホームページについて】

いつも閲覧	たまに閲覧	知っているが 閲覧していない	知らない	計
0	7	8	4	19

【傍聴経験について(複数回答可)】

議場	ある		ない	計
	かりんチャンネル	YouTube		
5	3	1	11	20

【今後の傍聴希望】

はい	いいえ	計
15	4	19

※複数回答可能な設問があるため、アンケート提出者数と必ずしも一致しない。

令和7年度「議員と語つチャオ！！」報告書

報告者：牛山 実弦

意見交換会名等	令和7年度「議員と語つチャオ！！」
日 時	令和7年11月8日(土) グループ名：A
会 場	総合福祉センター 交流ひろば
参加者名	◎意見交換のテーマ 「 <u>子育て安心、暮らしやすい街へ</u> 」
<u>市民 5名</u> <u>議員 4名</u> <u>◎進行係</u> <u>井上 登</u> <u>○取りまとめ書記</u> <u>牛山 実弦</u> <u>参加議員名</u> <u>高木 智子</u> <u>岩波 万佐巳</u> <u>大津 学</u>	<p>◇<u>子育て安心</u> (市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て施策は目立ったものがない。 ・キヨロブラ 地域の見回りについて。 ・心の教育 大脳生理学を広げたい。 ・ショートステイが欲しい。 (子どもの預けられる居場所・宿泊も含む。) ・母親教育も広がれば。 ・育児を学ぶ場をもっと用意してほしい。 ・親・子どものメディテーションの必要性 (心がおちつく)。 ・子育ての主体は？保護者の意識に疑問。 ・学校の先生たちが疲れている。メンタルが強くなる方法広がれば個性を大事にし過ぎ。 ・学校以外の子どもの居場所を増やそう。 ・小学校1年生の壁や子どもが安心して過ごす場所がもっと欲しい。 ・地域でかりんちゃんバスの廃路。 ・審議会等、市民代表の意見を聞く会のメンバー構成が偏っている。 <p>(議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもショートステイの必要性について参加者の問題意識を共有。制度設計の検討対象として扱う。 ・教員負担軽減に向け、地域応援隊やシニア人材活用の方向性に理解は示します。 ・親の学びの場の提供について既存コンテンツの活用意向あり。

令和7年度「議員と語つチャオ！！」報告書

報告者：横山 真

意見交換会名等	令和7年度「議員と語つチャオ！！」
日 時	令和7年11月8日(土) グループ名：B
会 場	総合福祉センター 交流ひろば
参加者名	◎意見交換のテーマ <u>「観光と地域の元気づくり」</u>
市民 10名	◇観光環境・景観・施設整備 〈課題〉（市民） <ul style="list-style-type: none">・諏訪湖周辺にお店や観光スポットが少ない。・ステーションパークの利活用が進んでいない。・湖畔のトイレが古く、清潔さに欠ける（ユスリカの問題含む）。・湖畔のイメージが悪く、ヒシの繁茂が景観を損なっている。・諏訪湖が汚く浅い。県の予算配分の効果も疑問。・諏訪湖周に花畠など観光要素が少ない。・公衆トイレや案内看板の整備不足。・石彫公園、片倉館、美術館などの観光拠点が十分に活用されていない。・道の駅がない。・湖畔イルミネーションが減少・寂しくなった。
議員 5名	
◎進行係 <u>近藤 一美</u>	
○取りまとめ書記 <u>横山 真</u>	
参加議員名 <u>吉澤 美樹郎</u> <u>森山 博美</u> <u>藤森 綾子</u>	○取りまとめ書記 <u>横山 真</u> 〈解決策〉（市民） <ul style="list-style-type: none">・湖畔トイレの改修・民間委託による清掃管理の強化（補助金活用）。・湖畔イルミネーションや花畠整備の復活・強化。・バイオトイレ導入など新しい観光トイレ設置を検討。・道の駅を新設し、スマートICと連動させる構想を推進。・湖上噴水・間欠泉復活など、観光の目玉づくり。・諏訪湖に大橋をかける・諏訪湖から立石公園までリフトを設置する。 ◇交通・アクセス・回遊性 〈課題〉（市民） <ul style="list-style-type: none">・道路整備が遅れ、渋滞が発生している。・国道20号バイパスではなく、諏訪湖に大橋をという意見もある。・観光バス駐車場が不足（湖畔・立石公園）。・上社～前宮間の交通網が不便。・西口から湖畔への案内が不十分。・スマートICの利活用が足りない。・タクシー乗車アプリが使えず不便。・JRで訪れる観光客向けの交通環境が整っていない。 〈解決策〉（市民） <ul style="list-style-type: none">・民間駐車場整備への補助制度創設。・6市町村連携による観光バス運行や交通ルート整備の検討。・回遊パスポートやルート案内整備で観光導線を可視化。・スマートICを観光・物流の結節点として整備強化。・駅前のアーケード設置など歩行者動線整備。

◇観光事業・イベント・魅力発信

〈課題〉（市民）

- ・観光客・移住者へのウェルカム感が不足。
- ・観光案内・イベント情報の発信が不十分。
- ・諏訪の食や地元特産のPRが弱い。
- ・花火大会の迫力が薄れた。
- ・観光協会の自覚・統一的運営が足りない。
- ・店舗の閉店時間が早く、夜間にぎわいが少ない。

〈解決策〉（市民）

- ・市内マップや観光導線マップの作成。
- ・クラウドファンディングを活用した観光事業支援。
- ・花火大会の質向上と演出強化、日本一を目指す大会づくり。
- ・JR利用者に配慮した観光導線整備。
- ・空き家・空き店舗をコンドミニアムや観光施設として再利用。
- ・映画・聖地巡礼などリバイバル施策で若年層の誘客。
- ・食材や土産品コラボ企画による新たな集客。

◇地域経済・まちづくり・広域連携

〈課題〉（市民）

- ・空き家・空き店舗が多く、利活用が進んでいない。
- ・地元産品提供の場が少ない。
- ・観光だけでなく6市町村による広域的な観光展開が必要。
- ・担い手・人材（観光・介護・農業）不足が深刻。
- ・エキまちカイギなどで市が方向性を示さないとの指摘。

〈解決策〉（市民）

- ・空き家の市による買い取り・民間活用促進。
- ・クラウドファンディング等の資金手法を導入。
- ・広域連携による観光・産業振興の推進。
- ・若者・移住者に向けたPRとチャレンジの場づくり。
- ・市内回遊性を高める交通・施設一体の整備。

令和7年度「議員と語つチャオ！！」報告書

報告者：小山 博子

意見交換会名等	令和7年度「議員と語つチャオ！！」
日 時	令和7年11月8日(土) グループ名: C
会 場	総合福祉センター 交流ひろば
参加者名	<p>◎意見交換のテーマ <u>「地域の声を形に(あなたの声をお聞かせください)」</u></p>
<u>市民 5名</u>	<p>◇声を届ける場所について (市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のテーマで、「地域の声」とは、「地域」の範囲が明確ではなかった。狭い意味でとらえると、個別の具体的な話になりかねない。 ・「地域の声」を受け付ける場所がわからない。議員か区長か、役所か。 ・区長制度の区長の位置づけが明確でない。 ・受け手側の情報のツール(紙・デジタル)がばらついているので、どうやって声を拾っていくのか、方法を明確にしておかないと拾えない。 ・政治談議ができる場所がわからない。
<u>◎進行係 小泉 正幸</u>	
<u>○取りまとめ書記 小山 博子</u>	<p>◇防災について (市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフとかが不安。備えるために学ぶ場が欲しい。
<u>参加議員名 牛山 正 伊藤 浩平</u>	<p>◇交通の問題について (市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道20号バイパスの建設の推進をして欲しい。 ・希望として、賑わいを作り出すために、桑原区にJRの駅を作ってほしい。 ・かりんちゃんバスが、来年4月から廃止される。チョイソコかりんちゃんの運行は現在平日のみ。土日の運行が無いと生活に困る地域がある。 ・チョイソコかりんちゃんの台数を増やしてもらわないと、利用者が集中すると、断られるケースが増える。 ・免許証を返納した人が生活に困る。免許証の返納を進めるには、足の確保が必要となる。 ・チョイソコかりんちゃんを試験運行していた時は、かりんちゃんバスも運行されていたので、実際の利用者の把握ができていない。 ・霧ヶ峰にはバスが走っていない。

(議員)

- ・現在、かりんちゃんバスが並行して運行されているので、チョイソコかりんちゃんは3台の運行となっているが、4月以降は増車の予定。また、土日についても試験運行を実施する。その結果を見て増便を検討することにしている。
- ・チョイソコかりんちゃんについては、利用しやすいように、回数券とか年間パスポートを作つて欲しいと市に要望をしている。
- ・予約が必要だが、上諏訪駅から霧ヶ峰農場へは、デマンド交通がある。

◇区・公民館の問題について

(市民)

- ・区民以外の人が公民館を借りる場合に使用料が高い。公共施設が廃止されると、居住地区外の公民館の使用が困難になる。
- ・区の公民館は、区民がお金を出し合つて建てたものだから、使用料の違いは理解できる。
- ・小さい区は、公民館を建てる時の負担が大きい。少し大きな単位で、市も支援して計画的に作れば、使用料の問題は解決できる。
- ・小さい区は役員も出せなくなっている。市が主導して、区を大きくしていくといけない。政治決断をしないといけない。
- ・区に入らない人が増えてきた。

(議員)

- ・各地区の公民館の使用料は、各区で設定している。
- ・総務省が 2014 年から全国の自治体に対して、「公共施設等総合管理計画」を策定するよう求めている。その目的は、老朽化した施設の更新・統廃合・長寿命化を計画的に進めて、財政負担を軽くすること。
- ・諏訪市は 2017 年度から「公共施設等総合管理計画」を進めていて、施設の老朽化や人口減少に対応するために、延べ床面積を 10 年間で 10%以上削減する目標を立てている。そのため、廃止された施設があり、その場を利用していた方が、他の施設を利用しないといけなくなったという経緯がある。
- ・上諏訪地区は、以前、市が区の統合を提案したが実現しなかった。地域の方から統合等の提案があれば、市は進めると思う。

◇その他

(市民)

- ・休耕地が目立つ。
- ・空き家対策が必要。

